第３回「子どもの最善の利益とはなんだろう？」

ALL三芳でこどもを支える

ー連携と切れ目のない支援ー

社会福祉法人　三芳町社会福祉協議会

社会福祉士・精神保健福祉士

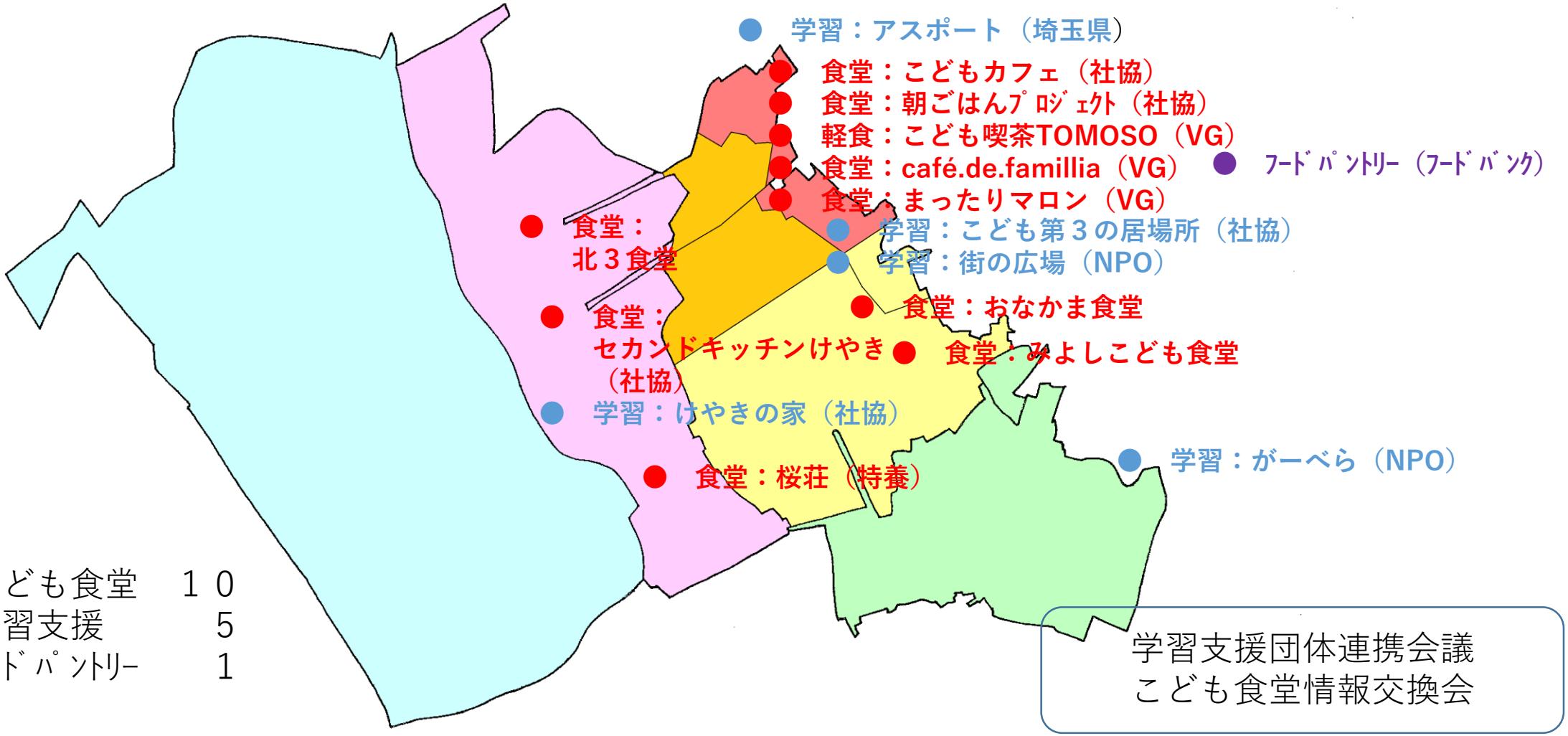
主幹　古賀　和美

三芳町社協　児童関連の事業

（子どもの貧困・不登校支援・障がい児支援）

◎食事つき学習支援事業２カ所…ひとり親・生活困窮世帯の児童の無料塾
◎学習支援団体連携会議
◎ケア型無料こども食堂２カ所…ひとり親・生活困窮世帯対象
◎朝ごはんプロジェクト
◎生理用品・マスク個別給付
◎母子家庭等の保護者のサロン『おしゃべりサロン』
◎ｸﾘｽﾏｽﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ配分…ひとり親・生活困窮世帯・生活保護世帯
◎障がい児余暇支援事業『ぎふと』
◎こども応援夢基金
◎個別給付
◎不登校等送迎事業
◎次世代を担うこどもの支援検討委員会
△衣類バンク
◎制服プロジェクト
◎ヤングケアラー理解講座・支援

こども食堂と学習支援マップ



こども食堂　１０
学習支援　　５
ﾌｰﾄﾞﾊﾟﾝﾄﾘｰ　１

学習支援団体連携会議
こども食堂情報交換会

学習支援

学習支援教室連携会議

・連携会議

・進学説明会

・ボランティア養成

・研修

食事配達

こども食堂に来れない世帯への配達をしています

お弁当配達リスト１１世帯４３人

	氏名	食数	アウトリーチルート	家庭状況					ケア型こども食堂				
									こどもカフェ	ｾｶﾝﾄﾞｷｯﾁﾝけやき	桜荘	北３食堂	朝ごはんﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
									三芳社協	三芳社協	特養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ	三芳社協
									毎水	毎金	毎火	不定期	毎水・金
1	A	4	こども支援課	母子家庭				母疾病・祖母認知	○	○			
2	B	2	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	母子家庭		不登校		母疾病（うつ）	○	○			
3	C	2	担任・他学習支援	母子家庭	母学国にﾙｰﾂ	不登校	ﾈｸﾞﾚｸﾄ		○	○		○	○
4	D	3	こども支援課	母子家庭		不登校	ﾈｸﾞﾚｸﾄ		○	○			○
5	E	5	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ・校長	母子家庭	母学国にﾙｰﾂ	不登校	生活保護	母疾病（うつ）				○	○
6	F	6	校長		母学国にﾙｰﾂ	不登校	生活保護				○		
7	G	3	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	母子家庭		不登校					○		
8	H	5	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	母子家庭	母学国にﾙｰﾂ	不登校					○		
9	I	4	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	祖父母養育							○		
10	J	4	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	母子家庭		不登校					○		
11	K	2	ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ 相談員・こども支援課	父子家庭	母学国にﾙｰﾂ	不登校			○	○	○		
		43											

不登校等送迎事業

不登校
特別支援学級
適応教室

令和３年５月から6人の児童に対応
内５名は、自力通学が可能となる

Case１
毎日お迎え　学校に行けない日が続いていたが、ボランティアさんが本人と母の話を根気よく聞き、学習支援教室にも通い、同じクラスの女子から学校に来い。迎えに行くよ。の声かけもあり、現在は週3程度通えるようになる。

Case２
転校により、学校までの距離が長く、朝起きれないことから学校に行けない日が続いていたが、ボランティアさんの送迎により通学できるようになる。友達ができたことで、自主的に通学できるようになる。

Case３
不登校気味であったが、通学班で行けない日に送迎をし、現在は通学できている。

Case４
こころのクリニックに通院中、朝起きれないことから、本人の希望する日に少し遅い時間にお迎えに行っていた。徐々に自力で通学できる日が増えて、現在は、自力で登校している。

Case５
送迎は拒否　学習支援には無欠勤できている。『学校に行かなくてはいけないことはわかっている。給食は食べたいけど、給食だけ食べにくる人にはなりたくない。』→学習支援教室でパソコンの支援をすることで５年ぶりの通学再開

Case６
特別支援学級に通っている。保護者の送迎が必要だが、母子家庭で就労をしなくてならないことから、送迎ができないでいた。継続的に送迎中。**朝食を食べていない日があるが、ボランティアさんに購入してもらうように伝えている。費用は社協で負担**

個別給付事業

① 生活保護世帯でメガネが買ってもらえない。
② 高熱が出ても病院に連れていけない。
③ カバン、着替え、お小遣いが用意できないから修学旅行はいかない。
④ 自転車を持ったことがないから中学生になっても乗れない。
⑤ 学校で必要なものがない。食事もない。
⑥ 私立高校進学に必要な学力テストが受けられない。
⑦ 母子家庭、母親が帰ってこない。
⑧ 文化祭でクラスのみんなで作るTシャツ代が払えない。
⑨ 楽器が買えない。
⑩ 半年で8キロ痩せる。家でご飯を食べずに学校に来てぐったり。
⑪ 母子家庭で特別支援学級の送迎ができない。
⑫ 不登校生徒の送迎
⑬ 母子家庭一人娘、高校３年１２月母急死。

次世代を担うこどもの支援検討委員会

平成27年～

●目的

連携と社会資源の開発

個別給付事業

●構成メンバー

行政区連絡会、民生委員・児童委員、福祉課、こども支援課、保育所、学童保育、教育委員会、教育相談室適応教室、校長会、スクールソーシャルワーカー、生涯学習課、幼稚園、福祉委員、福祉協力員、協働の街づくり協議会、ボランティア連絡会、ライオンズクラブ、学習支援団体（NPO、ボランティアグループ）、更生保護女性会、保護司会　学識経験者

渡り廊下のような切れ目のない支援

	クリスマスプレゼント	おしゃべりサロン	こども食堂	学習支援
頻度	1回/年	1回/月	1～5回/週	1～3回/週
乳幼児期				
小学生				
中学生		保育ボラ		
高校生				
大学生				学習ボラ
社会人				

アウトリーチ（ｸﾘｽﾏｽ・こども支援課・生活福祉資金・生活困窮者自立支援総合相談）
⇓
おしゃべりサロン（ひとり親ｻﾛﾝ）
ケア型こども食堂
学習支援

家計支援
歳末援護金
生活福祉資金
就労支援
こども応援夢基金
食料支援
衣類バンク
制服ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
生活保護

仲間や友人ができるセルフピア活動がおこなわれる